

## ICT 教育研究プロジェクト 「地域活性化研究」

### 1. 研究課題

ICT機器を用いた教育活性化、地方創生プロジェクト

### 2. 概要・目的

本研究は、ICT機器を使用した教育の活性化や地方都市と協力して地方創生活動に寄与するプロジェクトである。

### 3. 構成メンバー

代表者：澁澤 健太郎（経済学部教授）

参加者：井上 武史（経済学部准教授）、久米 功一（経済学部教授）、松原 聡（経済学部教授）、  
藤井 大輔（埼玉学園大学経済経営学部教授）

### 4. 今年度の成果報告

#### ○現地視察および意見交換会

2023年5月15日（月）～16日（火）、場所：武雄市、参加者：松原聡（経済学部教授）、武雄市市長、武雄市教育長

#### ○特別講演会

2023年6月7日（水）、場所：125記念ホール、講演者：魚津市役所企画政策課 主任 高瀬大樹

#### ○現地視察および意見交換会

2023年9月15日（金）、場所：武雄市、参加者：松原聡（経済学部教授）、藤井大輔（埼玉学園大学経済経営学部教授）、武雄市市長、武雄市教育長

#### ○報告会

2023年10月14日（土）、場所：5309教室、参加者：澁澤健太郎（東洋大学経済学部教授）、松原聡（東洋大学経済学部教授）、藤井大輔（埼玉学園大学経済経営学部教授）

古賀龍一郎（武雄市こども教育部長）、石橋正子（武雄市教育委員会・新しい学校づくり課長）

#### ○シンポジウム「生成AI×高等教育」

2023年11月28日（火）場所：125記念ホール、参加者：藤尾美佐（経営学部教授）、澁澤健太郎（経済学部教授）、本学の学生、所員

#### ○シンポジウム「地域活性化のあり方」講演者：原口一博（参議員議員）

2023年12月15日（金）、場所：125記念ホール、参加者：澁澤健太郎（経済学部教授）、本学の学生、所員

---

# ICT 教育研究プロジェクト

## 「ICT・AI 翻訳研究会」

### 1. 研究課題

ICT教育におけるAI翻訳機（含む生成AI）を用いた異言語間翻訳の実証実験

### 2. 概要・目的

本研究は、ICT教育の今後の重要な一分野として、異言語間の授業および研究上のコミュニケーションをAI翻訳機あるいは生成AIを用いて、その実現可能性を探るべく実証実験し、特に大学教育及び研究の場における日本語使用者と外国語使用者（特に中国語と英語）との間の有用性を検証しつつ、AI翻訳機・生成AIの使用に関する有用性のある方法（長所・短所・特長など）を探求しながら、実用の方策を見出すことを目的としている。

ICT教育はこれまで、情報検索や通信といった分野、反転学習を含む教育分野で研究されてきたが、現在ではAIの急激な発達によって、これまで実用に耐えなかったAI翻訳の向上と正確性が顕著になり、次世代の教育及び研究の媒介言語機能を備えるまでに発展してきている。さらに生成AI（ChatGPT等々）の発達が目覚ましく、AI翻訳作業自体が生成AIに取り込まれているのが実情である。これによって、内外の複数の異言語を翻訳しながら生成AI特有の文書作成や論理構成といったより総合的なAI活動が行われつつある。

東洋大学がグローバル化し、世界から多くの留学生を迎え入れる時代が目前に迫っている段階において、英語だけでは通用しない多様性のある学内環境が醸成されつつあることから、多様な異言語と日本語をつなぐ非常に有用な方法としてAI翻訳を取り込んだ生成AIを早急に研究する必要性が生じている。

本研究はこのような前提のもとに、本学を、我が国で最初のAI翻訳および生成AIを用いた授業等を展開し得る高等教育機関に昇華させるための基礎研究として必要であり重要性を有しているのである。

### 3. 構成メンバー

代表者：齋藤 洋（法学部教授）

研究協力者：周圓（法学部准教授）、藤尾美佐（経営学部教授）、その他

### 4. 今年度の成果報告

- 7月 6日（木） 第一回意見交換会
  - 7月10日（月） 第二回意見交換会
  - 10月23日（月） 第三回意見交換会
  - 10月26日（木） 第四回意見交換会
  - 11月 2日（木） 第五回意見交換会
- 2024年3月上旬 報告書発行予定